

来年度の編集・出版形態

- (1) 二段階査読を維持，3月アブスト受付 - 10月出版
- (2) 二段階ともに電子査読化，主査制の導入
(主査 = 幹事，副査 = 編小委非幹事 + 第一段査読者)
- (3) 査読小委を廃止し編集小委に一本化，最終判断は幹事会の責任
- (4) 校正は著者校正1回のみ
- (5) 電子ジャーナル実現まで現在の品質での出版（カラー不可）を維持
- (6) 編集小委内に，電子査読WGと出版形態WGを設置
後藤，武若，森 間瀬，重松，小林，佐々木，八木
- (7) 海岸工学論文賞（3編程度）を創設，受賞論文はC E Jに推薦
- (8) 技術委託費約50万円 / 年以下を想定

——→ 11月の講演会（委員会で承認後）に概要をアナウンス